

# 令和4年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



## テーマ

地域・家庭との協働によって  
一人一人のよさを伸ばす学校  
～ 笑顔であいさつ  
心をこめて ありがとう ～

学校名 佐世保市立小佐世保小学校  
所在地 佐世保市小佐世保町 18-1  
校長 春田 優洋  
児童数 227名 学級数 12

## 1 目的

- (1) 学力向上を図る
- (2) 豊かな心を育む
- (3) 開かれた学校づくりをすすめる
- (4) 夢やあこがれを育てる

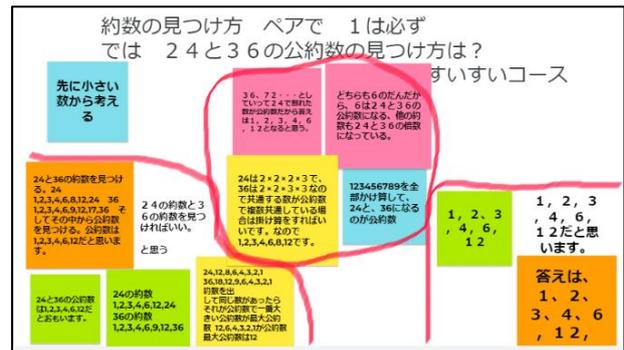


## 2 実践内容

### (1) 学力向上を図る

#### ○授業改善（全学年）

「主体的な学び」の実現に向けて授業改善に取り組んだ。全国・県・市の学力調査の分析を生かしつつ、ICT（タブレット）を活用した授業改善を行った。



#### ○少人数・習熟度別指導（3年生～6年生）

算数科の授業では、児童一人一人の実態に合わせ習熟度別指導を実施した。全学年でタブレット端末を使った基礎的基本的ドリル学習が定着してきた。

#### ○学力の把握・分析（全学年）

標準学力テストを実施して、児童の学力の状況と実態を把握した。また、結果を分析してその後の授業改善や校内研究の体制づくりに生かした。

### (2) 豊かな心を育む

#### ○思春期講演会（5年生 1月）

臨床心理士を講師に、思春期の心の成長について授業を実施した。児童は、心の変化について考えることができた。



○性教育セミナー（6年生 1月）

長崎県看護協会の助産師の方を講師に招き、性に関する授業を実施した。講師の話はわかりやすく、事後の児童の感想には命の大切さについての気づきや思いが綴られていた。



（3）開かれた学校づくりをすすめる

○入学式、卒業式、集団下校等

地域の方々に来校していただける機会を設けることは、ほとんどできなかった。しかし、手紙やはがきによる連絡、安心メールによる連絡等で学校の様子を伝えるように努めた。各地域にて見守りをお願いし、ご協力いただいた。

○卒業プロジェクト（6年生 1月）

地域の老人会より新しい手縫いの雑巾を100枚以上いただいた。6年生が代表してお礼の手紙を書き、心の交流ができた。また、地域清掃を通して地域の方々との心の交流ができた。

（4）夢やあこがれを育てる

○福祉学習講話（4年生5年生 11月～1月）

総合的な学習の時間において、ユニバーサルデザイン授業や車いすバスケット体験を実施した。児童は、多様性について考えることができた。社会の中のバリアフリーの工夫などについて調べ、まとめたことを発表することができた。



### 3 成果と今後へ向けて

（1）「主体的な学び」を目指して、授業改善とICTの効果的な活用に取り組んだ。今後は、いかに最適な学びを保障していくかという課題が明らかになった。

（2）異学年集団による縦割り活動は、児童に協調性や思いやりの心を身に付けさせるためにたいへん効果的である。今後とも縦割り活動を続ける工夫を続けたい。

（3）外部講師やGTを招く予定が変更になり、十分な体験活動ができなかった。豊かな心を育てるためにも、目標を明確にして一層深まるように工夫しなければならない。

また、開かれた学校づくりをさらに推進するために、各学年の学習においても外部人材を活用するなど、総合的な学習のカリキュラムを見直す必要性が出てきた。